

長壽吉 (ちやうきち) (西洋史學者、文學博士。明治十二年八月四日東京生れ、
 昭和四十六年二月二十一日歿(八〇一・九七二)。號岫寧、紅雪。書家長
 三洲の長男。明治二十七年東京帝國大學文科大學史學科卒。大学院に
 進んだ後、¹⁾大正元年歐洲留學。歸國後奈良女子高等師範學校教授、學
 習院教授等を経て、十四年九州帝國大學法文學部教授兼圖書館長とな
 り昭和十五年退官、名譽教授。二十四年上智大學教授、その後東京女子
 大學教授を務めた。妻初枝は法學者末弘嚴太郎(いづみたらう)の姉。
 著書に『竹柏園集・第一編』(合著・佐々木信綱編、明治二十四年)一

月十日博文館)、『學苑隨筆・東西南北人』(昭和十一年二月十日第一書房)、
 『新修史學概論』(昭和十一年六月一日同文書院)、『一莖一花』(昭
 和十四年七月二十七日白水社)、校訂『淡窓詩話・約言政聞』(廣瀬
 淡窓著、昭和十五年二月二日岩波書店「岩波文庫」)、『近世歐洲史
 研究』(昭和十九年四月十日富山房)、『自由思想と近世教會』(昭
 和二十一年七月二十五日福岡・

停信堂「自由文化叢書」)、『梅
 園から淡窓へ』(昭和二十一年
 八月十五日生活社「日本叢書」)、
 『史學概論』(昭和二十二年二
 月十五日三省堂出版株式會社)
 等。『西洋史
 論叢 政治と思想』長壽



長壽博士還暦日記

念四(二拜卯)

三郎編、昭和十六年九月二十八日富山房)がある。

